

弥陀ヶ原の火山活動解説資料（平成 26 年 2 月）

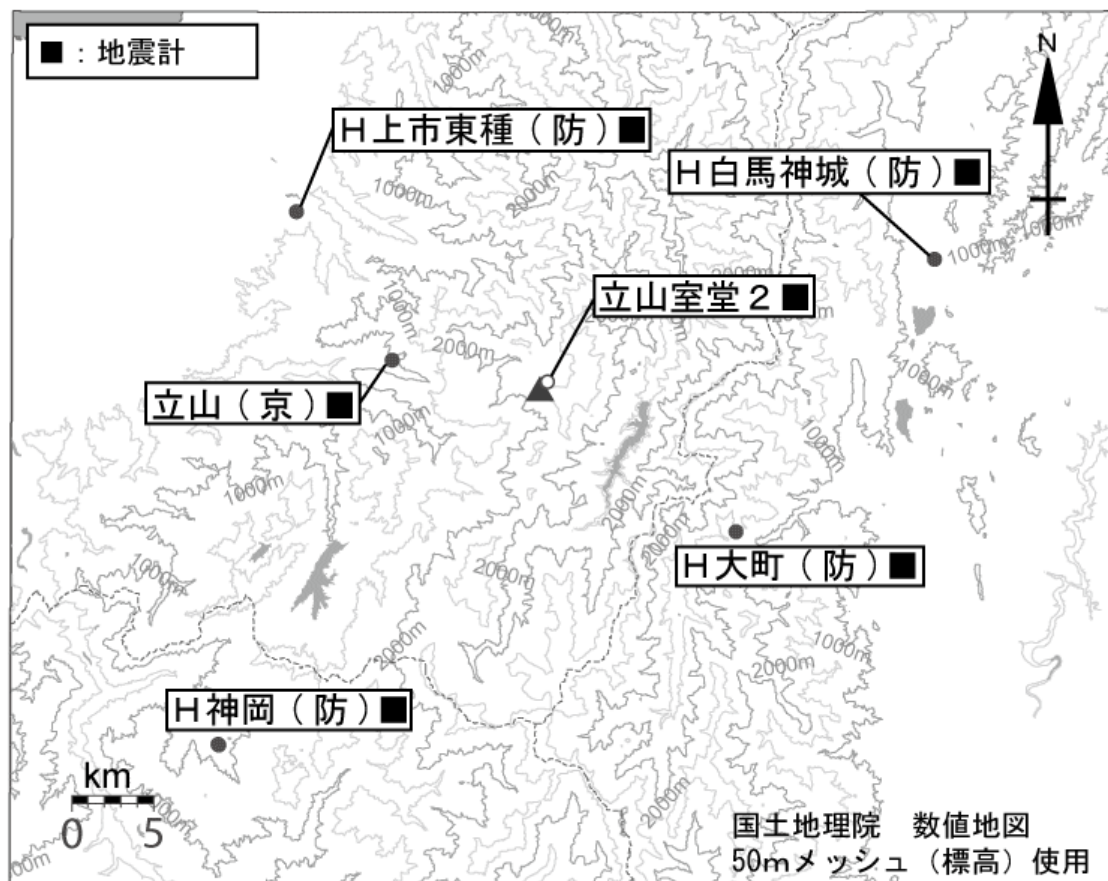
気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

東北地方太平洋沖地震（2011 年 3 月 11 日）以降、弥陀ヶ原周辺では地震活動が活発な状態でしたが、周辺の地震活動は低下しました。また、弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過しました。
立山地獄谷では以前から熱活動が活発に継続しており、この付近では火山ガスが高濃度になることがありますので、注意してください。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 地震や微動の発生状況（図 2）

弥陀ヶ原近傍を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（防）：防災科学技術研究所、（京）：京都大学防災研究所

図 1 弥陀ヶ原 観測点配置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 3 月分）は平成 26 年 4 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

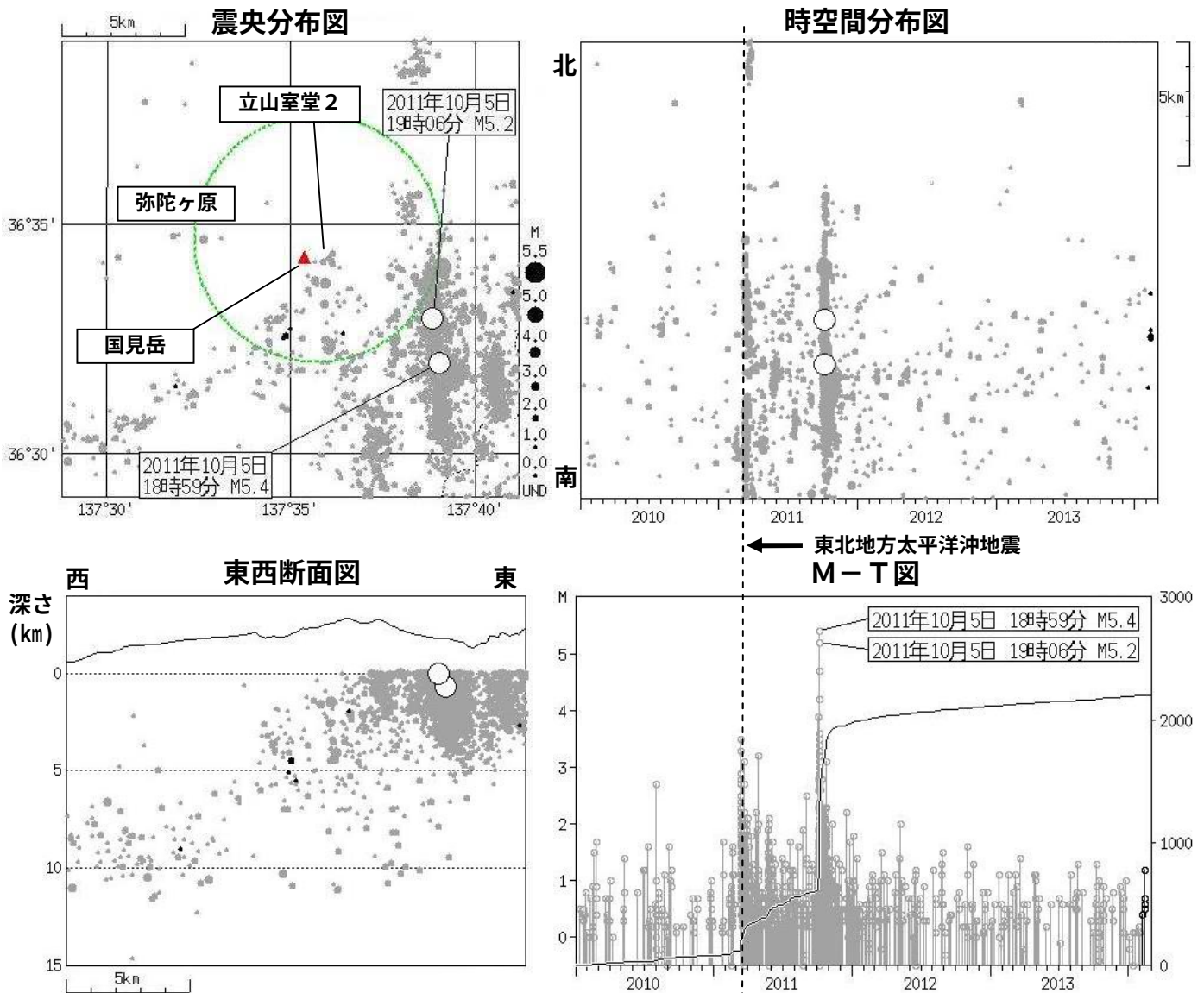


図2 弥陀ヶ原 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2010年1月1日～2014年2月28日）

●：2010年1月1日～2014年1月31日 ●：2014年2月1日～2月28日

- ・ 緑色の点線の円は、立山室堂に設置した地震計（立山室堂2）でS-P時間1秒以内となるおよその範囲を示します。
- ・ 周辺の地震活動は低下しました。
- ・ 弥陀ヶ原近傍の地震活動は、低調な状況で経過しました。
- ・ M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
- ・ 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。